

発言No. 4

受付No. 3

令和7年8月21日

9時16分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1：石見神楽の伝承と企業支援の可能性

(1) 市長が任期中に石見神楽を見てきた課題と評価について

- ① 市長はこれまでの任期中の中で、石見神楽という文化の意義、そしてその継承において直面された課題をどう思われているのか、総括的な認識を伺う。

(2) 企業・団体による支援の可能性について

- ① 近年、地域文化を持続可能な形で支えるために、行政だけでなく企業や団体の力を活用する動きが全国各地でみられる。例えば宮崎県では「神楽サポーター制度」という枠組みの中で、企業が休暇制度を活用して神楽を支援したり、資金や人材を提供して地域行事を継続可能にする取組が進められている。この先進地での取組について所見を伺う。
- ② 本市においても、石見神楽を支える企業や団体との連携を、より積極的に仕組み化する必要があると考えるが、市長は企業・団体がこの地域文化を支える主体として関わることへの意義、そしてその必要性について、どのように考えているか、所見を伺う。

(3) 行政による今後の継続的な支援体制について

- ① 今後の市政において、石見神楽の伝承を支援する行政の体制整備、そして企業・団体と連携した新たな制度設計の必要性について、市長として考えがあれば、ぜひ後任への引継や提言という形でお聞かせ願う。